

### 電子図書館の早期実現を!! 小学校・中学校給食費無償化を!!



自由民主党西東京市議団 稲垣 裕二

#### 学校給食費無償化

**問** 人口27万人の青森市で小学校・中学校の給食費無償化が10月よりスタートする。この流れは今後広がると思う。市長・教育長の見解は。

**答** 一過性で終わらないように継続することが大切であり、検討が必要。

**意見** 今後も給食費無償化について取り上げていく。

#### 電子図書館実現を

**問** いつでも借りられ、期限が来れば自動返却される等メリットが多い。財源的にも交付金を使え、建物建築と違い初期投資が少なく済む。導入すべきと考えるが、見解は。

**答** 導入に向けた検討を進めている。

#### 東伏見駅高架化

**問** 高架下利用方法や駅舎デザインに地域の意見を反映させるのか。

**答** 高架下の検討は、地域の皆様の

意見等を聞きながら進める。地域にふさわしい個性ある駅舎デザインを目指すよう、検討に当たっては都及び鉄道会社に要望する。

#### 地元農産物の活用

**問** 地域との連携などの取組は。

**答** 地域の農業者が、直売所等で市内農産物を販売している情報を発信する。農業者が運営するマルシェ等に対する支援を行う。



農産物マルシェ

### ひばりヶ丘駅でのストリートピアノ設置と解体された保谷庁舎の敷地活用について



自由民主党西東京市議団 田中 のりあき

**問** ひばりヶ丘駅周辺では、ストリートピアノを設置して、地域の特色を出したいとの機運が高まっている。文化振興計画に沿った取組として、市が関わりを持って実現させたいと考えているが、見解を問う。

**答** ストリートピアノの設置は、文化芸術を通じた地域の関わりや新たな交流等が期待できる。今後、ピアノの確保、設置場所や管理運営方法等の課題を整理する必要がある。

**問** ピアノの確保は、地域の方々から、ご寄附いただけると聞いている。設置場所や管理方法等、地域の方々との連携によりストリートピアノの設置について前向きに検討していただきたいと考えるが、市の見解を問う。

**答** ストリートピアノの設置は、文化芸術を通じた地域の関わりや新たな

交流の機会創出が期待できる。様々な課題の整理を行うため、地域の方々のお話を聞きしていく。

**問** 解体された保谷庁舎の敷地について、活用方法を検討している期間中であっても、市民に開放すべきと考えるが、市の見解を問う。

**答** 一時的であっても市民に開放すべきではないかという点については、今後、どのような手法が可能なのか、検討していく。



### 田無警察署移転後の跡地には 運転免許更新センターを誘致せよ



自由民主党西東京市議団 遠藤 源太郎

**問** 新型コロナウイルス感染症、濃厚接触者の特定化は取りやめになる。学校の対応は。休む期間の指導は。

**答** 引き続きチェックシートは活用して感染防止に十分努めていく。

**問** 田無駅南口広場実現に向かい、用地取得に協力を得て着々と進む。周辺整備や道路整備はどうするのか。

**答** 次期都市計画マスタープランで行政商業サービスの拠点に位置づける。

**問** 保谷庁舎の機能は、田無第2庁舎に集約された。西東京市誕生時の統合庁舎構想は生きているのか。

**答** 新庁舎建設構想は変えないが、時代の変化は想定を超えている。必要な庁舎機能や事務の在り方を整理検討し、将来は新庁舎を建設する。

**問** 田無警察署の跡地に本市に有益となる施設を誘致せよ。

**答** 今後どのような検討がされるか情報を収集している。市民サービス、商業の活性化を期待している。

**問** 毎議会、自転車の交通安全を提起してきた。「あ！」という注意喚起の表示を交通危険箇所に表示したらどうか。交通事故が半数以下になったと聞く。

**答** 安全を促す注意喚起表示を、提案も含め効果的なものを検討する。



保谷庁舎敷地

### 新型コロナウイルス感染症対策全般について 都市計画道路3・4・9号線東大農場付近、ほか



自由民主党西東京市議団 小林 たつや

**問** 新型コロナウイルス感染症の最新の情報、ワクチン接種状況、体制、などコロナ対策全般に関して、伺う。

**答** 市内累計で約3万3,000人が感染、接種率は国平均の約2P、都平均の4P上回っている。2価ワクチンの接種体制も医師会と協議し体制確保する。市では感染者に対し、独自の食料支援やパルスオキシメーター貸与等を行っている。それ以外にも市独自支援として、発熱外来の運営支援や市民、事業者への各種特別給付金、消費喚起事業等の市民生活支援、高齢者には「つながり応援カード」で5,000円の支援など、教育分野では、全国的に先駆けオンライン授業を実施。図書カードの贈呈や各施設の感染予防対策を行った。

**意見** 感染対策や接種体制に関しては臨機応変に対応を願う。市独自の

支援事業に関しても予算の許す限り支援されたい。

**問** 東大農場通りの拡幅や信号機設置について伺う。

**答** 3・4・9号線より北側は6.5m、南側は7.5m拡幅され万年堀なども取り払われる予定。横断歩道や信号設置、北原2丁目のバス停前の横断歩道設置も都へこれからも要望する。

**意見** タヌキなども守ってほしい。



つながり応援カード

### 住民の幸福度・満足度が高いまちへ!



西東京市議会公明党 大林 光昭

**問** 第3次総合計画は、住民の幸福度や満足度といったウェルビーイング指標を踏まえて策定を進めるべき。

**答** 国や都の動向、地域課題や新たな市民ニーズを踏まえて検討する。

**意見** 本市は自治会・町内会の加入状況や住宅環境の数値が非常に低い。こうした指標を施策に生かすべき。

**問** あらかじめ氏名や住所を記入した書類を準備する「書かない窓口」を早期導入すべき。

**答** 効果的な導入に向けて検討する。

**問** 市民の相談を断らない窓口の創設を提案し、福祉丸ごと相談窓口が設置された。相談実績と評価を問う。

**答** 生活相談や地域活動・就労支援など、延べ約2万4,000件。様々な困り事を抱えた方を支援した。

**問** これまで実施したフレイルチェックの分析と効果的な活用を問う。

**答** 本市は、全国に比べて社会性の面でリスクが高い方が多い傾向。今後、身近な地域で様々な方と関わりを持つ機会を拡充を図っていく。

**意見** \*eスポーツのイベントを開催するなど、楽しさを取り入れるべき。

**問** 地域子育て支援センターは、現在の配置を見直して拡充すべき。

**答** 中学校区での確保を基本とし、拡充を図っていく。



eスポーツによるフレイル予防

### 多世代交流による地域づくりを推進。すべての世代が住み続けたいと思えるまちづくりを



西東京市議会公明党 田代 伸之

**問** 多世代交流による地域づくりを進めるべき。多世代が一緒に行う地域でのごみ拾いなど取組の検討を。

**答** 子どもから大人まで地域に居場所や出番があり、人と人との交流から、子ども、若者が住み続けたいまちの実現を目指す。第3次総合計画に、提案も踏まえ策定をしていく。

**問** MCI(軽度認知障害)状態の方への支援の拡充と体制の構築を。

**答** 第9期高齢者保健福祉計画の策定に当たり、早期発見、早期対応の必要性の普及啓発、医療機関受診の際にMCI状態に気づいていただけた効果的な取組を検討する。

**問** 不足している18歳以上の障がいのある方の夕方までの居場所確保を。

**答** 第7期障害福祉計画策定に合わせてご利用者、ご家族、関係機関から幅広く意見を聞き検討していく。

**問** 不登校の児童生徒の学びの保障についてタブレット端末を活用したオンライン授業など提案してきた。

**答** 教師の説明や板書をオンラインで視聴できる環境を校長と連携し段階的に整えていく。

#### その他の質問

- ◇環境施策
- ◇ヤングケアラー支援
- ◇介護者支援など



\*ウェルビーイング (well-being) 健康や福祉など、幸福で豊かであること。ウェルビーイング指標は、幸福度のことを表す。  
\*eスポーツ (エレクトロニック・スポーツ) コンピューターゲームをスポーツ競技として捉える際の名称。